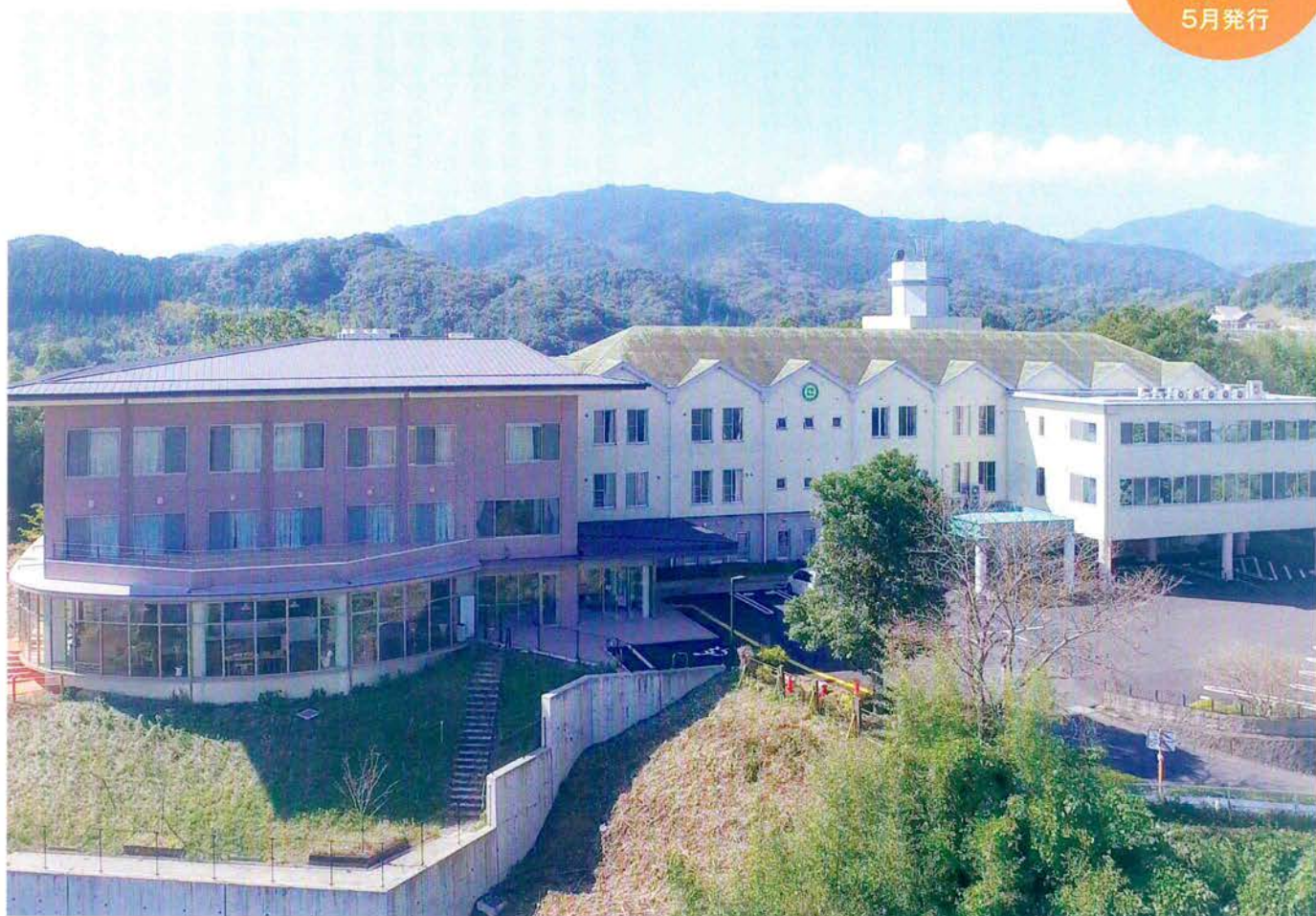




丘の上だより

Vol.37

平成30年
5月発行



目次

第63回 九州精神医療学会特集 ……	P2
第43回 九州集団療法 研究会での発表 ……	P3
第35回 大分県病院学会での発表 ……	P3
かわら版	
心理療法士 ……	P3
地域生活サポートステーション ……	P4

- 科学的な治療を、各職種チーム医療で誠実に提供します。
- 人権を尊重し、共に歩み、癒しをもたらす、再生を目指す医療を行います。
- 思春期から老年期までの精神医療と心身医療に広く取り組みます。

病院の基本方針

大分丘の上病院は、医療・保健・福祉を通して、人々の健康向上に寄与し、地域社会の発展に貢献する。

法人理念

九州精神医療学会特集

2018年1月25日～26日

宮崎市 JAアズムホールにて開催

今回の自己免疫性脳炎の患者症例を通して学んだことは、入院時にアルコール性離脱せん妄の病名が付いていたという思い込みが初期治療への援助に影響を与え、事に気づくことができたことです。また、せん妄状態を有する患者様といっても信頼関係構築により看護介入の幅が広がることに気付くことができました。

ディケアリワークプログラム(復職支援)でのメンバーが感じる効果について

地域生活サポートステーション 室長
喜舎場 永一郎



2病棟 看護師
岩永 亮輔

135kmプロジェクト～入退院を繰り返す思春期うつ病患者に対する取り組み～

看護士の免許を取得し、今年で9年目になり、今年で九州という大きな規模で開催されるような学会への参加は初めてでした。各県、それぞれの医療機関で取り組まれている研究や看護アプローチはどれも素晴らしい内容でも勉強になり、自分の発表に関してもイメージ通り発表することができ、たくさん質問を頂きました。かつ、質問者が納得できるような返答ができたのではないかと感じています。

以前勤務していた職場ではそのような機会はありません。当院に入職した時は自分に文章が作成できるだろうか？質問にうまく答えられるだろうか？と不安を感じていました。定期的に実施すること、文章の作成能力、発言力、分析力が一つの間にか身につくまで困ることがほとんどなかったです。平日頃、「ケースカンファレンス」の意味を肌で感じる事ができた今回の学会参加でした。また機会があれば是非参加したいです。

日々働いている中で、目の前にあるものや症状に捕らわれがちですが、まず患者様を知ること。病気を知らずして、いかに患者様の思いに耳を傾け、選択肢としての情報を提供し、患者様自身が自分らしく生きていく術を見いだせるか。それが患者様と関わる中で看護の力を発揮できる部分なのではないかと感じました。

先入観をもたない看護の大切さ アルコール性せん妄の症状に覆われた自己免疫性脳炎患者の看護

3病棟 看護師
似田代 彰



3病棟 精神保健福祉士
吉田 真由美

精神科急性期治療病棟における高齢者増加の問題と今後の課題

今回の研究で統計や職員へのアンケートを実施したことで、様々な疾患、様々な年齢が入院する当院の急性期治療病棟の治療課題を再確認することができました。平成27年度、平成28年度と2年間の統計では、新規入院患者28人のうち173人(28%)が65歳以上と高齢者は増加していました。平成29年5月末に高齢者病棟が閉鎖となりましたが、今後も患者様や御家族により良い治療が提供出来るように今回明らかになった課題の改善や、高齢者の治療(認知症、アルコール症、気分障害)にも力を入れていきたいと考えています。

第43回 九州集団療法 研究会での発表



地域生活サポートステーション
作業療法士
山本 めぐみ

平成29年11月25日に福岡県の油山病院で行われた九州集団療法研究会にて『リワーク交流会』について発表させていただきました。当院では、休職者を対象とした復職支援（リワーク）プログラムを実施しています。その中で、プログラムの現在の利用者と卒業生との交流会を定期的に実施しています。実際に復職した卒業生が、実体験をもとに現役のメンバーにアドバイスを送ったり、卒業生同士が現在の悩みを相談し合う場となっています。今回の発表を通して、交流会で卒業生とお会いすることは、スタッフにとっても力を与えてくれる場であると改めて実感しました。メンバーもスタッフも元気をもらえる交流会を今後も継続していきたいと思えます。



第35回 大分県病院 学会での発表



3病棟 精神保健福祉士
吉田 真由美

平成29年11月19日に別府市ビーコンプラザで行われた大分県病院学会で『病棟リワークプログラム』について発表させていただきました。当院では平成25年11月より復職支援（リワークプログラム）を実施しています。今回の発表は入院治療の中で復職課題に焦点を当て支援した結果について報告させていただきました。休職中の患者様が入院中にプログラムを利用することで、現実的な課題に向き合い、集団療法や様々な活動に参加することで自信を回復し復職することができました。医療リワークプログラムは適応能力を高める効果があると振り返ることができましたので今後も当院でリワークプログラムに力を入れていきたいと思えます。



心理療法士かわら版 摂食障害の集団療法 『コスモスの会』



心理療法士
池田 梨穂

当院では平成9年より、毎週土曜日に摂食障害の患者様とご家族を対象とした集団精神療法『コスモスの会』を行っています。

会は2部構成となっており、第1部は本やDVDを用い、摂食障害に関して勉強しています。その後第2部では本人と家族がそれぞれに分かれ、懇談会を行っています。私もスタッフとして参加していますが、懇談会では参加者が自分の悩みを話され、共感し合い、時にはお互いにアドバイスをしながら話す姿が印象的です。参加者からは「自分の悩みを話せてよかった」「同じ症状の人の話が聞けてよかった」などの感想が聞かれています。これからも参加者の治療に少しでも役立つような会にしたいと思えます。



地域生活サポートステーションかわら版

Café hill top

当院の外来受付には喫茶スペースがあることをご存知でしょうか。デイケアでは、働く自信を付けたい、職場でのマナーを知りたい等、働く準備をしたい方を対象に就労トライアルとして喫茶店を行っています。毎週月・水曜日の午前中に営業しており、診察待ちの方や入院中の方、ご家族の方々に美味しい飲み物と癒しの時間を提供しています。店員となるメンバーさんは、レジ・厨房・フロアをそれぞれ受け持ち、連携しながら取り組むことで働くスキルを身に付けていきます。また、メニュー決めやポスター作り、発注等の運営に関わることも行っています。売上はすべてメンバーさんに給与として分配しています。メンバーさんの頑張る姿にスタッフが学ばせてもらうことも多く、それぞれの夢に向かって一緒に成長していけることを嬉しく感じています。

地域生活サポートステーション
精神保健福祉士
梶本 智香



喫茶メンバーから
ひとこと

Aさん
最初は接客が苦手だったけど、メンバーさんやスタッフが励ましてくれたことで続けることができ、自信を持てるようになりました。

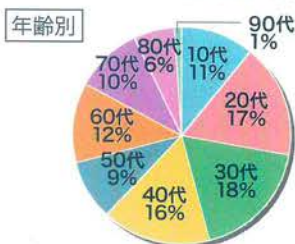
Bさん
メンバー同士で助け合いながら接客態度を学ぶことができました。将来は飛行機が見えるカフェの店員として働きたいです。

Cさん
お客さんに「美味しかったよ。」と声を掛けてもらえることが嬉しく、やりがいを持って働いています。職場でのコミュニケーションも学ぶことができました。



治療実績 (2017年度)

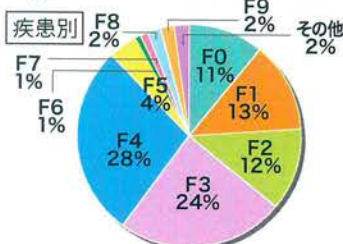
①新患 年間：436名
(男性197名、女性239名)



新患の年齢は10代～20代まで120名(28%)、30代を入れると200名(46%)を占める。

認知症の周辺症状による問題行動が原因で受診される高齢者が多くなっている。

※3ヶ月以上受診をしていない
再診察の方も含む



アルコール依存症、認知症の患者さんの入院紹介が多い。

不安障害、適応障害等の受診が多くなっている。

リワークプログラムを行っているので気分障害の紹介が多い。

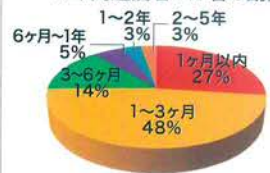
- F0 症状性含む器質性精神障害(認知症など)
- F1 精神作用物質の使用により精神及び行動の障害
- F2 統合失調症、統合失調症障害及び妄想障害
- F3 気分(感情)障害(うつ病、躁病、躁うつ病)
- F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(不安障害、強迫性障害、適応障害など)
- F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害など)
- F6 成人の人格及び行動の障害(人格障害など)
- F7 知的障害
- F8 心理的発達障害(自閉症、学習障害など)
- F9 小児(児童)期及び、青年期に通常発症する行動及び情緒の障害(他動性障害など)

②年間入退院数、平均在院日数

年間入院数：422名
年間退院数：440名
平均在院日数：98.4日

③入院期間

※年間退院者440名の動向



440名中、3ヶ月以内に328名(75%)が退院され、6ヶ月以内に390名(89%)の患者さんが退院されています。

病院までのご案内

- 大分駅より
車で約25分(米良バイパスが近道)
- 大分自動車道米良インターより
車で約10分
- 豊肥本線「中判田駅」より
車で約5分



発行

医療法人 善慈会 大分丘の上病院
理事長・院長 帆秋 善生

〒879-7501 大分市大字竹中 1403

TEL 097-597-3660 / FAX 097-597-3657

ホームページアドレス <http://www.okanoue-hospital.com/>